

平成 19 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 ネクストウェア株式会社
代表者名 代表取締役社長 豊 田 崇 克
(コード番号 4814)
問合せ先 取締役経営戦略部長 脇 本 寿 郎
TEL (06)6281 - 9866

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 7 月 20 日に公表しました平成 19 年 3 月期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)の連結および単独の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期通期業績予想の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(1) 連結

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	7,000	200	170
今回修正予想 (B)	5,300	580	950
増 減 額 (B-A)	1,700	780	1,120
増 減 率	24.3%		
(参考)前期実績	5,820	126	456

(2) 単独

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	6,300	150	142
今回修正予想 (B)	4,500	620	950
増 減 額 (B-A)	1,800	770	1,092
増 減 率	28.6%		
(参考)前期実績	5,446	153	467

2. 修正の理由

平成18年7月10日付適時開示「業績に影響を与える可能性のある事象の発生について」にてご報告いたしました通り、当社元社員による不正行為が判明いたしました。このような事件があったものの、当社の主力事業であるシステムアウトソーシング事業につきましては、主要取引先に支えられ堅調に推移する見通しであります。

しかしながら、システム販売を伴うソリューション事業における、ITインフラ構築案件及び医療業界向けソリューション案件などについては、事件の影響による営業活動の停滞により受注に至らなかった案件や、来期へずれ込む案件が発生いたしました。その結果、連結売上高は5,300百万円の見込みとなりました。

損益につきましては、上記売上高の減少に伴う損失に加え、PBS事業撤退を主体とした事業の再構築の際に発生する費用増加により、連結経常損失は、580百万円の見込みとなりました。

また、PBS事業撤退ならびに不採算事業に関連する棚卸資産(約40百万円)、固定資産の減損処理の実施(約160百万円)、滞留債権に対する貸倒引当金等(約130百万円)を特別損失に計上することにより、連結当期純損失は950百万円となる見込みとなりました。

以上により、誠に不本意ながら平成18年7月20日発表の業績予想を大幅に下回る見込みとなりましたので、業績予想を修正することといたしました。

投資家の皆様、取引先等関係者の皆様には、大変ご迷惑、ご心配をおかけいたしますことを深くお詫び申し上げます。

3. 今後の対策

今後の事業環境は、厳しい競争が予想されるものの、一方では経営の透明化に関連する法制等の動きから、システム整備需要の拡大が期待されます。幸い事件発生後も主要取引先とは良好な関係を得ており、システムアウトソーシング事業を中心に、事業の拡大に努めてまいります。

加えて、昨年11月に資本・業務提携を行いましたピー・シー・イー株式会社との中堅、中小企業向けERPシステムの販売について、来期は業務提携の相乗効果発揮による業績増大の初年度と位置づけております。

また、今後の経営につきましては、更に堅実性と透明性を重視し、着実な事業展開により業績向上に努めてまいります。

4. 責任の明確化

今回の業績予想修正を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、下記のとおり役員報酬の減額を決定いたしました。

(ア) 取締役報酬減額の内容

代表取締役社長	月額報酬額の 30%
代表取締役副社長	月額報酬額の 30%
専務取締役	月額報酬額の 20%
取締役	月額報酬額の 10%

(イ) 監査役報酬自主返上の内容

監査役	月額報酬額の 20%
-----	------------

(ウ) 対象期間

平成 19 年 2 月から平成 19 年 6 月まで

以上

上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予測に内
存する様々な不確定要因や外部環境等の変化等により、実際の業績と異なる可能性がありますのでご承知おきください。